

## 令和5年度 第2回 技術部会

C3部会 2024年2月3日(土)

全国高等学校体育連盟体操専門部

### 審議事項

1. 令和6年度 高校適用規則(競技規則、採点規則)の確認
2. 令和6年度 全国高校総体(福岡)大会実施要項について
3. 令和7年度 全国高校総体(山口)大会実施要項について
4. 令和6年度 全国高校選抜(香川)大会実施要項について
5. その他  
(1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

### 審議結果

1. 令和6年度 高校適用規則(競技規則、採点規則)の確認

#### (1) 令和6年度以降の手具の確認

	全国高校総体			全国高校選抜				
	手具		開催地	手具			開催地	
令和6(2024)年度	リング	ロープ	福岡	スティック	リング	ロープ	クラブ	香川
令和7(2025)年度	ロープ	クラブ	山口	スティック	リング	ロープ	クラブ	福井
令和8(2026)年度	クラブ	スティック	兵庫	スティック	リング	ロープ	クラブ	
令和9(2027)年度	スティック	リング	千葉	スティック	リング	ロープ	クラブ	

#### (2) 高校適用規則(競技規則、採点規則)について

- ・5人団体の採点規則
- ・炭酸マグネシウムの使用について(移行期間として運用)

#### 2. 令和6年度 全国高校総体(福岡)大会について

- ・炭酸マグネシウムについては、準備せず、使用場所も限定する。北海道IHと同様の対応をとる。
- ・練習会場の削減(フロア数は例年から1面減)
- ・監督会議を書面開催として、開会式を開始式に変更できないか **変更できない(専門部不承認)**

#### 3. 令和7年度 全国高校総体(体操競技:島根 新体操:山口)大会実施要項について

- ・練習会場は空調設備なし、暑熱対策については、ポータブルクーラー等で対応する予定。
- ・練習会場の天井までの高さが12.5mなど、低めな会場が多い。
- ・大会当日に練習会場の大学でオープンキャンパスが開催される可能性があるが対応可能。

#### 4. 令和6年度 全国高校選抜(体操競技:高知 新体操:香川)大会実施要項について

- ・採点規則を新ルールで運用したい。

#### 5 その他

##### (1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

###### ア 炭酸マグネシウムの使用について(ブロック毎の回答)

- ・2024年の高体連主催の大会については、炭酸マグネシウムの使用を希望するチームは使用を認めるが、後始末等に十分気を付ける事としては?
- ・令和6年度12月を目途に使用の可否を検討する。

###### イ インターハイや選抜大会の開会式を開始式として簡略化して欲しい。

- ・開会式後の夕食などが遅くなり、翌日の大会に向けてコンディションが整えにくい。

- ・一斉に会場からホテルに向かうため、交通手段等の混雑や急ぐあまり怪我にもつながりやすい。

**変更できない（専門部不承認）**

- ウ 監督会議は書面で実施して欲しい。
- ・引率が1人の場合、生徒だけになってしまう。

**変更できない（専門部不承認）**

- エ 選抜大会の個人出場枠を女子と同数にして欲しい。

**日本協会と親高体連への確認必要**

- オ インターハイの個人競技の班編成（現行3人）だと、種目間の短時間（現行12～15分）であり、怪我等が心配されるので、現行の12班編成を6班または4班編成として欲しい。

**専門部承認**

- カ 団体競技にて、8名登録の中から5名競技に出場するようにして欲しい。
- ・協会主催大会と同様にエントリー制とし、補欠制をなくす。

**検討を続ける（要項変更を親高体連が容認するか不明）**

- キ 予備手具の扱いについて、女子と同じように主催者側（高体連で購入済）の準備したものを使用する。（規則では、置かなければならないとしか記載がない）

**専門部承認**

- ク 技術部会をオンライン会議で実施できないか。（経費節約するため）

**対面で実施（専門部不承認）**

## (2) 令和6年度全国高校総体（団体競技）補充枠について（別紙）

### (3) 男子新体操委員会より（山田委員長）

- ア 5人制団体について
  - ・高体連関係の大会の導入時期（技術部案：令和6年度香川の高校選抜からを検討）
- イ 新ルールについて（2024年12月に講習会予定）
  - ・現段階では、演技づくりに最低限必要なルールは夏ごろに発出、その他の詳細については2026年度のユースから新ルールで大会実施。
- ウ 炭酸マグネシウムの使用について
  - ・日本体操協会主催大会については、2024年度から使用不可。
  - ・今回は、粉状（固形含む）のすべり止めを使用不可とするもので、これまで液状のものも含めて認めていた。
  - ・今後、運用していく中で検証していく。
- エ 審判部について
  - ・（公財）日本体操協会の審判部に男子新体操も加わるようになった。